

拠出金名: 西アフリカ諸国経済共同体拠出金

分担金・義務的拠出金の有無		有(所管官庁)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成20年度の拠出総額				3,823千円	
国際機関等名	西アフリカ諸国経済共同体 (英文名称・略称) Economic Community of West African States (ECOWAS)				
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	外務省中東アフリカ局アフリカ第一課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成20年度	3,823	34		1\$= 113円	100
平成19年度	4,051	35		1\$= 116円	100
平成18年度	4,860	44		1\$= 111円	100
当該拠出金の目的・用途等	非軍事分野におけるECOWASの平和の定着、地域の安定等に向けた活動の支援。				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2007年)			国際機関等の財政 (2008年度決算:千ドル)		
	国名	金額 (千ドル)	拠出率(注) (%)	当該年度の収入	162,003.67
1位	カナダ	1,014	18.4	当該年度の支出	162,003.67
2位	アフリカ開発銀行	300	5.4	次年度への繰越	0
3位	その他のドナー	41,785	70.0	会計検査機関名	
4位				Delloitte Touche Tohmatsu	
5位				現在の構成員の出身国:コートジボワール	
日本の拠出順位: -、拠出率: 0.8%。					
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
西アフリカ15ヶ国が加盟するECOWASは、域内の紛争において、ECOWAS特使を派遣するなど、AU等とも協力し、積極的に調停・仲介や紛争解決に乗り出しており、国際社会からも高い評価を受けている。また、小型武器管理、組織犯罪対策など、広範な分野において域内の安定化に向けた取組を活発化。我が国は、これらの努力を高く評価し、平和構築、民主化、治安維持等の分野のプログラム実施のため、平成12年より拠出金を拠出してきている。また、平成19年2月、「西アフリカ諸国経済共同体(ECOWAS)の小型武器管理計画」のため、UNDPを通じ、3億3,500万円の紛争予防・平和構築無償資金協力を実施。平成21年12月、植澤ナイジェリア大使をECOWASに対する日本政府代表として任命した。					
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価					
域内経済統合の推進という設立当初の趣旨のみならず、発展には地域の平和と安定が不可欠であるとして、紛争解決関連分野での活動を強化。99年に採択された「紛争予防・管理・解決・平和維持・安全保障メカニズム」に基づき、紛争防止のための体制を整備。また、98年に設置された小型武器軽火器に関するモラトリアムを2006年6月のECOWAS首脳会議にて条約化。さらに同月、ECOWAS小型武器管理プログラムを正式に発足させるなど、小型武器対策に向けた取り組みを本格化させている。ECOWAS待機軍の設立準備にも優先的に取り組んでいる。また、2007年1月、機関の機能向上のため組織改編を行い、これまでの事務局を、チャンバス委員長及び7名の委員からなる委員会へと改変。					
邦人職員数 うち幹部以上	0 うち	人 人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率	— 0%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職員氏名		備考	
なし					
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
特になし。(ECOWASはオーナーシップの原則に基づき、幹部ポストはアフリカ人のみ採用)					

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。